

「100年先も必要とされる会社」へ

第97期 中間期

株主のみなさまへ

決算ご報告

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日



 日本山村硝子株式会社

<https://www.yamamura.co.jp/>

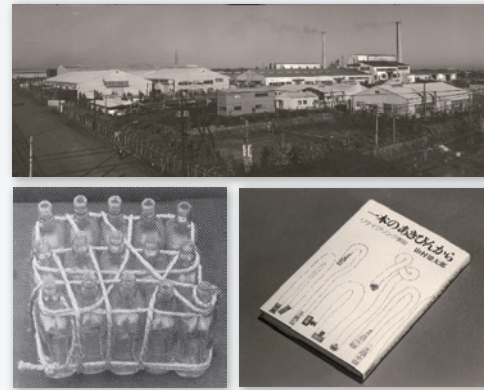
日本山村硝子111th HISTORY

1914年に創業され、ガラスびんからその歴史が始まりました。

戦後復興期、高度成長、グローバル展開、新素材開発...

変化する時代の中で「変わらぬ価値」を届け続けてきました。

111年のその先も、我々の歩みは時代とともに、これからも続きます。



中国に**展誠(蘇州)塑料製品有限公司**を設立し、その後は**タイ、インドネシア、台湾、米国**とグローバル展開を本格化。



111周年を迎え、グループ丸となって
「**YAMAMURA ONE**」を掲げ、
次の100年に向けて新たな一歩を踏み出す。

「100年先も必要とされる会社」へ

111年目を新たなスタートの年と位置付けて、
これまで先人たちが築いてきた信頼を受け継ぎながら、
これからの日本山村硝子を牽引していくために、
私たち12名の経営陣は想いを一つに取り組んでまいります。



次の100年も、みなさまとともに。

2025年4月、日本山村硝子は創業111周年を迎えました。1914年に創業され、ガラスびんからその歴史が始まりました。

戦後復興期、高度成長、グローバル展開、新素材開発...変化する時代の中で「変わらぬ価値」を届け続けてきました。これだけの歴史を積み重ねることができたのも、株主・投資家のみなさまをはじめ、多くのステークホルダーのみなさまのご支援、ご協力の賜物でございます。心より御礼を申し上げます。

また、当社の先達の「社会に貢献したい。そのために挑戦する。」という強い思いが、どの時代も常に引き継がれてきたことによるものだと思信しています。この歴史の重みをしっかり感じてグループ一丸となって、これからも豊かな社会の実現に貢献し、夢のある魅力的な会社を目指してまいります。

「YAMAMURA ONE」は、私たちの新しいアイデンティティです。

創業111周年、この3つの「1」が並ぶ今、「YAMAMURA ONE」という新しいアイデンティティメッセージを発信しました。

「ONLY ONE」、「No.1」、「ONE TEAM」の3つの思いが込められており、関わるすべての人が1つになることで、より豊かな社会と地球環境をつくっていく。みんなで未来へ向かう、意志と決意を形にしたものです。

この先の飛躍と持続的な成長を目指し、「YAMAMURA ONE」をテーマに「経営陣が一つに」なり、「経営陣と従業員のみなさん」、さらには社外の各ステークホルダーのみなさまや地域社会とも「1つ」につながって豊かな社会を作っていきたいと思っています。

株主のみなさまには、引き続き一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 具
2025年12月

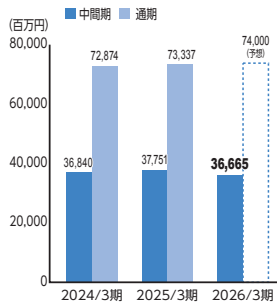


代表取締役
社長執行役員 山村 昇

売 上 高

36,665百万円

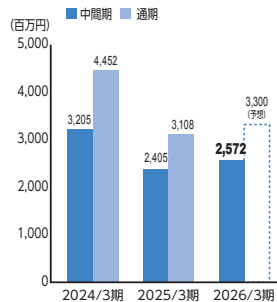
プラスチック容器関連事業では国内における飲料用キャップの出荷の増加や中国での販売好調等、物流関連事業では新規業務の獲得増加や価格改定の実施等、ニューガラス関連事業では電子部品用ガラスや半導体向けガラスセラミックス製品等の出荷が堅調に推移し増収となりましたが、ガラスびん関連事業では国内ガラスびんの出荷量の減少等により減収となりました。これらの結果、売上高は36,665百万円(前年同中間期比2.9%減)となりました。



営 業 利 益

2,572百万円

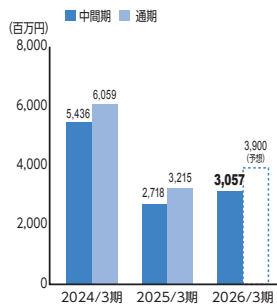
プラスチック容器関連事業では修繕費等の増加により減益となったものの、ガラスびん関連事業では販売単価の上昇や製びん関連設備の売上増加等により増益となりました。物流関連事業、ニューガラス関連事業ではコスト削減等の損益改善がありました。これらの結果、営業利益は2,572百万円(前年同中間期比6.9%増)となりました。



経 常 利 益

3,057百万円

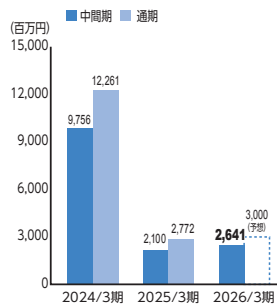
海外関連会社の増益により持分法による投資利益は701百万円(前年同中間期比145.7%増)となり、経常利益は3,057百万円(前年同中間期比12.5%増)となりました。



親会社株主に帰属する中間純利益

2,641百万円

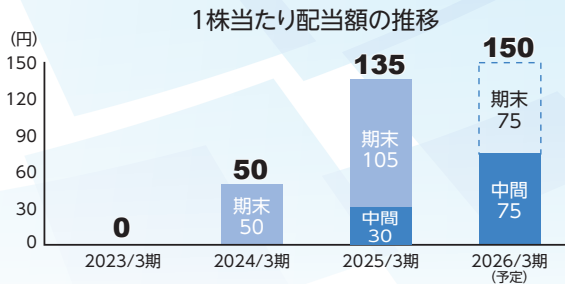
経常利益が増益となったことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は2,641百万円(前年同中間期比25.8%増)となりました。



株主還元の基本方針および当期の配当

当社は、2025年3月期から株主還元方針を強化、連結配当性向50%を目安とし、1株当たり50円を下限に、利益成長に応じた継続的な配当額増加を目指す方針です。

当期(2026年3月期)の剰余金の配当につきましては、中間配当金を1株につき75円とし、期末配当金75円と合わせ、通期で150円とさせていただきます。



TOPICS

「TEAM EXPOパビリオン」参加 & 「みんなで選ぶ!TEAM EXPO」W受賞

当社プラスチックカンパニーは、9月19日(金)～21日(日)、「2025年日本国際博覧会」(大阪・関西万博)「TEAM EXPO パビリオン」に参加しました。プラスチックリサイクルプロジェクト「RIN～Recycle Innovation in the New Normal～」(※)についての展示を行い、3日間合計で約8,600名の方にご来場いただきました。共創チャレンジに参加していたチーム数は、2025年8月末時点で延べ2,441チーム、

共創パートナー登録団体数は2025年8月末時点で435団体に達しており、「みんなで選ぶ!TEAM EXPO」においては、その中から全9部門のうち、「イノベティブ賞」および「みんなで選ぶ共創チャレンジ賞」の2部門をW受賞しました。



※「RIN～Recycle Innovation in the New Normal～」

びんtoびん構想に端を発し、使い終わったペットボトルキャップを再び新たなキャップや新たな価値へと生まれ変わらせることを中心とした、当社プラスチックカンパニーが推進するプラスチックリサイクルプロジェクトです。

大阪・関西万博

経済産業省主催「サーキュラーエコノミー研究所」出展

当社プラスチックカンパニーは、9月23日(火)～29日(月)に大阪・関西万博にて経済産業省が主催する体験型催事「サーキュラーエコノミー研究所」に出展しました。

サーキュラーエコノミー研究所は、経済産業省と「科学漫画サバイバル」シリーズ(朝日新聞出版)のコラボレーションによる、サーキュラーエコノミー(循環経済)を楽しみながら学べるイベントとして開催されました。当社は「RIN」(※)の活動について展示を行いました。イベント全体で約58,000名の方にご来場いただきました。



CO₂排出削減技術の開発 ～水素燃焼によるサステナブルなガラスびんの生産に成功～



当社と当社グループの株式会社山村製壺所は、日本エア・リキード合同会社と共同で、溶解炉で使用する燃料の一部を水素に置き換えたガラスびんの生産に成功いたしました。

燃料としての水素は、燃やしてもCO₂が発生しないという利点があります。通常の方法で生産されたガラスびんと同等の品質が得られたことから、水素のインフラが整備されれば、ガラスびんがカーボンニュートラル実現に貢献できる容器となり得ることが示されました。山村グループはこれからも、「100年先も必要とされる会社」を目指し、すべての事業領域において、社会課題の解決に貢献してまいります。



高感度排ガスセンサー開発 米国スタートアップ「RedNOx Inc.」へ出資

当社は、ガスセンサー技術スタートアップ企業 RedNOx Inc. が実施する第三者割当増資の一部を引き受け、出資することを決定しました。当社ニューガラスカンパニーは、エレクトロニクス、エネルギー関連等、幅広い産業分野に向けて接着・封着用ガラス材料を提供しています。今回のRedNOx社への出資と並行して、当社が有する技術的知見を活用し、RedNOx社の開発を支援します。本出資および協業を通じ、当社にとって新規事業領域となるモビリティ・農業分野におけるノウハウの蓄積と、さらには次世代ガスセンサー市場での貢献を図ります。当社グループは、既存事業の成長に加え、グローバルな環境課題の解決や次世代モビリティ・農業技術の発展に積極的に関与し、企業価値のさらなる向上を実現していきます。

REDNOX
INNOVATING FUTURE TRANSPORT



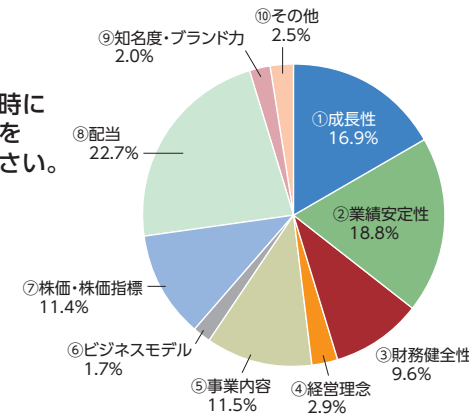
Q&A

株主様アンケート結果のご報告

2025年3月末時点の株主様を対象に、ハガキによるアンケートを実施しましたところ、多くの株主様からご回答をいただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケート結果の一部をご報告させていただきます。

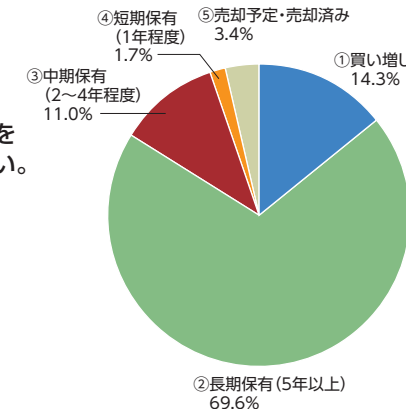
Q

当社株式取得時に重視したことをお聞かせください。



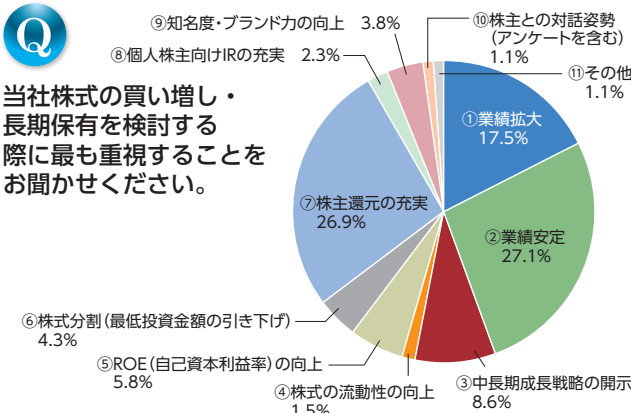
Q

当社株式の今後の保有方針をお聞かせください。



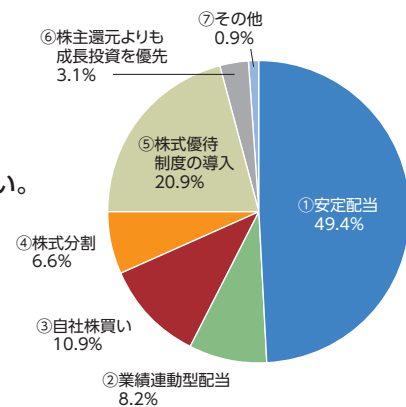
Q

当社株式の買い増し・長期保有を検討する際に最も重視することを聞かせください。



Q

今後当社に最も望まれる株主還元策をお聞かせください。



お寄せいただいたコメント

- 成長性のある企業さんであると思い株を購入しました。これから先の成長、企業拡大を期待しております。
- 株価が割安だと思い購入しました。増配があり、また関西兵庫の会社を応援したいとの思いから、所有し続けたいと思っています。日本のものづくりを元気にしてください。応援しています。
- もう少し買い増ししようと思ったがチャンスを逃した、長く付き合いたいの安定した業績拡大をお願いします。
- 事業の将来性を注視している。 ●成長とともに継続的な配当をお願いします。
- 株主還元増はもちろん歓迎しますが、基本は業績の継続的な向上なので実現にご尽力願います。
- 株主優待あれば持ち続けます。配当金ありがとうございました。

他にも、要望・叱咤・激励のお言葉など、多くのご意見を頂戴いたしました。株主のみならず、みなさまからの貴重なご意見を参考にさせていただき、今後も一層の企業価値向上、ならびにIR活動の充実に注力してまいります。引き続き、当社グループへのご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

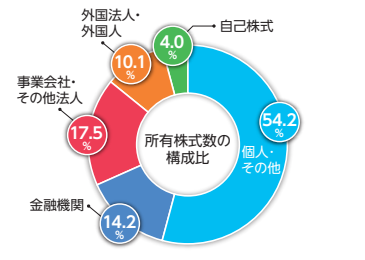
会社の概要		(2025年9月30日現在)
商 号	日本山村硝子株式会社(Nihon Yamamura Glass Co.,Ltd.)	
本 社 所 在 地	関西本社 兵庫県尼崎市西向島町15-1 電話 06-4300-6000(代表)	
東京本社	東京都新宿区西新宿6-14-1 電話 03-3349-7200(代表)	
	新宿グリーンタワービル20階	
創 業	1914年4月5日	
設 立	1941年12月11日	
資 本 金	140億7,496万5,448円	
従 業 員 数	767名	
上場証券取引所	東京証券取引所(スタンダード市場)	
会 計 監 査 人	有限責任 あずさ監査法人	

大株主の状況			(2025年9月30日現在)
株主名	所有株式数	所有株式比率	
MURAKAMI TAKATERU	990千株	9.26%	
日本山村硝子取引先持株会	753	7.04	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口・80131口)	477	4.46	
株式会社三井住友銀行	425	3.97	
INTERACTIVE BROKERS LLC	318	2.97	
山村 幸治	305	2.85	
日本山村硝子従業員持株会	265	2.48	
株式会社三菱UFJ銀行	229	2.14	
三菱UFJ信託銀行株式会社	227	2.13	
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN(CASHPB)	208	1.95	

(注)1.当社は、2025年9月30日現在、自己株式446千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.所有株式比率は自己株式を控除して計算しております。

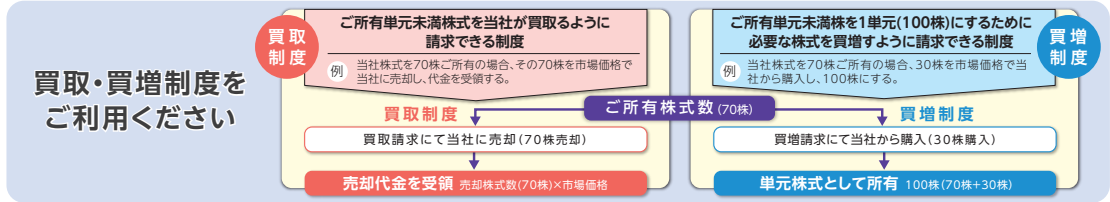
株式の状況		(2025年9月30日現在)
発行可能株式総数	30,000千株	
発行済株式の総数	11,145千株	
株主数	9,350名	
単元株式数	100株	

所有者別株式分布状況			(2025年9月30日現在)
	株主数	所有株式数	
個人・その他	9,014 名	6,036 千株	
金融機関	15	1,586	
事業会社・その他法人	251	1,949	
外国法人・外国人	69	1,125	
自己株式	1	446	
合 計	9,350 名	11,145 千株	



役 員		(2025年9月30日現在)
■取締役(監査等委員である取締役を除く。)		
取締役会長	山村 幸治	取締役会議長
代表取締役社長執行役員	山村 昇	
取締役専務執行役員	小林 史吉	環境室、コーポレート本部およびプラスチックカンパニー管掌
取締役常務執行役員	明神 裕	ガラスびんカンパニーおよびエンジニアリングカンパニー管掌
取締役常務執行役員	田口 智之	研究開発センター長およびニューガラスカンパニー管掌

■監査等委員である取締役		
取締役常務監査等委員	佐貫 正義	
取締役監査等委員(社外)	高坂 佳郁子	弁護士(独立役員)
取締役監査等委員(社外)	泉 豊禄	ハウスリンク株式会社代表取締役社長(独立役員)
取締役監査等委員(社外)	近谷 遼郎	弁護士(独立役員)
■執行役員		
常務執行役員	副島 正義	ガラスびんカンパニー社長
執行役員	金原 正晃	コーポレート本部長
執行役員	木村 周二	植物事業部管掌および山村硝子貨物およびバスステーション株式会社代表取締役社長
執行役員	宮城 篤志	プラスチックカンパニー社長
執行役員	山下 哲	エンジニアリングカンパニー社長
執行役員	佐藤 敬	サンミグル山硝子パッケージング社取締役副社長



株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領日 株主確定日	3月31日
中間配当金受領日 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料) (土・日・祝日等を除く午前9時~午後5時) https://www.tr.mufig.jp/daikou/
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.yamamura.co.jp/ir/notice.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で行うこととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて		
○特別口座に記録された株式		
お手続き、ご照会等の内容	特別口座の口座管理機関	お問合せ先
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)		三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	[手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufig.jp/daikou/

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選択いただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式		
お手続き、ご照会等の内容	株主名簿管理人	お問合せ先
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ		三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等	にお問合せください。